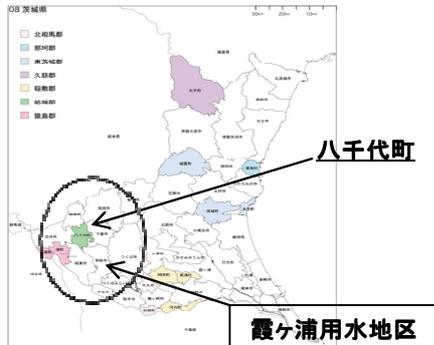


整備された畑地かんがいを効果的に活用して露地・施設野菜の複合経営の周年作付体系及び新品目の産地化を確立



そめの よしろう
染野 芳郎
 【茨城県結城郡八千代町】

経営面積：27.62ha
 主要作物：はくさい、キャベツ、
 レタス、カリフラワー、
 トウモロコシ、ねぎ、
 加工用トマト、カラシナ、
 ほうれんそう 等
 労働力：自家5人、雇用5人



事業を契機とした合理的な水利用営農

国営霞ヶ浦用水地区(S55~H20年)は、茨城県西南部の下妻市外10市2町にまたがり、飯沼川等の中小河川域に発達した水稲及び畑作を主体とした県下有数の農業地帯です。

当初は、陸稲、スイカ、かんしょ、タバコを作付していましたが、排水不良や干ばつに悩まされ、計画的な作付が困難でした。

国営事業や関連事業が行われたことにより、ほ場が整備され、大型機械の導入が可能となり作業効率が大幅に上昇しました。

また、畑地かんがい施設が整備されたことにより、露地・施設野菜における計画的な生産が確立され、栽培作物や生育時期に応じた合理的な水利用に取り組んでいます。



かん水チューブによる畑かん



大型機械の導入

野菜の複合経営で周年作付体系を確立

かんがい施設の整備に伴い、1年を通じた収入の確保、連作障害の回避のため、露地では、春:キャベツ・レタス、夏:トウモロコシ、秋:はくさい・キャベツ・レタスを、施設栽培では、春:カラシナ、夏~冬:ほうれんそう等を作付しています。

粗収益は整備前の約15倍となり、高収益な周年作付体系に寄与しました。



はくさいの栽培風景



ねぎの栽培風景

販路拡大の取組

生産物の販売は、農協系統への出荷の他、加工・業務用野菜の需要に対応した契約販売先を増やし、販路の拡大を図っています。

契約販売では、新鮮な野菜を迅速に届けるため、4.5トラックを2台整備し、主に漬物加工工場等へはくさい等を直送する等、多様なニーズに対応可能な輸送体制の整備に努めてきました。

その結果、現在は契約販売が出荷量の約5割を占めており、市場価格に左右されない安定的な収入を確保しており、「高収益な経営モデル」として地域の模範となっています。



はくさい収穫風景

畑地かんがい営農の積極的なPR

染野氏は、県内の畑地かんがいの利用推進を図るため、「畑かんマイスター」の初代連絡協議会会長として、平成16年から現在まで畑地かんがいの推進に尽力されました。

染野氏の畑地かんがい営農の取組は、国営事業地区における畑地かんがいの営農推進への波及効果が期待されます。



講演会の様子



畑かんマイスター出前講座の様子

染野氏の取組は、畑地かんがい営農の先導的な事例であり、地域内にとどまらず、他の畑地かんがい事業地区への波及効果が期待されます。

■ 問合せ連絡先

関東農政局農村計画部資源課
 電話番号 048-740-0516